

JAしまねびより

2020

4

April
Vol.49

特集 島根の農産物のセールスマン

私たちが
販売戦略室です!



島根の
いいもの再発見!!

乳牛

[益田市]

詳細は6ページへ



JALしまね 西いわみ地区本部版

topics 1

エコバッグ貸します！
「循環エコバッグ」で環境保護

JAしまねいわみ中央女性部弥栄が、浜田市弥栄町のAコープやさかで「循環エコバッグ」活動を始めました。エコバッグを忘れた来店者は、店舗にある女性部員が持ち寄ったエコバッグを使い、次の来店時に返却する仕組みです。

「うっかり忘れた」という人のため、「家にあるエコバッグが共有できるようになればいいな」と女性部員で考えたことが実現しました。

徳田マヌエ部長は「地域の人みんなで共有することで環境保護につなげていきたい」と意気込みを語ります。



循環エコバックを持つ弥栄女性部員

topics 2

新型コロナに負けるな！
「県産品応援デー」始めました

JAグループ島根は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費の減少が懸念される生産者の皆さんを応援するため、島根県と連携して「県産品応援デー」に取組んでいます。応援デーとして定めた毎週金曜日は、両組織の役員1万1,100人が県産品を積極的に購入します。本誌をご覧の皆さまにもぜひご賛同いただき、ともに県産品を応援しましょう！

【例えばこんなこと】

- ・牛乳をもう1本多く使って、家族で牛乳料理をもうもり食べます。
- ・金曜日には花を買ってゆとりのある週末を過ごします。
- ・県産牛肉、野菜、魚を買って家族で鍋を囲みます。



応援デーのチラシを持つJA職員

topics 3

JA島根厚生連
健康管理センターが開所しました

出雲市斐川町美南で建設していた、JA島根厚生連の健康管理センターが完成しました。

この健康管理センターは、人口減少・少子高齢化といった環境変化を見据え、従来から展開している「巡回型」の健診に加え「施設型」の健診を実施することで、JA組合員をはじめとする地域の皆さまのさらなる健康増進を目的としています。

「各種がん検診」を含む「総合健診」や要望の多い「新規検査」のほか、健康教室や研修会など、JAグループ島根厚生事業の情報発信拠点として多様な活動を行います。



島根の農産物のセールスマン

私たちが

販売戦略室

です！



斐川町にあるJAしまね営農経済本店を拠点に活動する

「販売戦略室」をご存知ですか？

今回の特集は、JAが自己改革に掲げる

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の達成に重要な役割を担う「販売戦略室」にスポットをあててご紹介します。



販売戦略室はいつからあるの？

平成30年3月に新設しました。当初は3人体制でスタートしましたが、現在は室長を含め4人体制で業務にあたっています。

統合前は県内の各JAが個別に取引先と農産物販売の交渉を行っていましたが、ひとつの地域で供給できる物量には限りがあるため、取引先からの需要に応えられないことがありました。そこで、地区本部・地域の垣根を無くして、「JAしまね」として交渉にあたるための窓口となるべく「販売戦略室」ができました。

どんなことをしているの？

県内で生産される農産物の、ビジネスチャンスや販売チャネル拡大の役割を担っています。

例えば契約栽培を始めとした直接取引では、業者からは「高品質」なモノを「均一」なレベルで「大量」に納品できるかを問われます。地域単位では応えることが難しいこうした要求も、島根県内の複数の産地で統一的な規格のモノの生産・出荷が可能となればクリアできます。販売戦略室は、「オールJAしまね」として島根産農産物を売り込むため、生産現場での営農指導と販売を結びつける役割を果たしています。農産物販売のコーディネーターとイメージしてもらえれば分かりやすいかもしれません。

具体的には、営業活動の中で取引先の需要をキャッチすると、要望に応えるモノ、つまり「売

れるモノ」を生産・販売するためのワーキングチーム（以下、WT）を設置します。WTには地区本部や本店の関連部署、またJA関連会社の生産・流通・販売の担当者を参集し、期限を区切って集中的に対応を検討・実践します。販売戦略室はこのWTの企画、立案、進捗管理を行っています。

もちろん単発で販売して終了ではありません。販売後は消費者からの評価を生産現場へフィードバックし、以降の取引量増加に向けて課題の改善を図ります。取引先を開拓することは重要な業務ですが、私たちは販路を作るだけでなく、「売れるモノを継続して生産できる仕組み」まで作って初めて成功だと考えています。

今後の目標は？

2019年度に開拓した取引先を中心に販売額の増加を図り、2021年度末には2018年度を基準に3億5千万円の販売額増を目指します。

2019年度は30を超える新規取引先への販売を開始しましたが、これからは個々の取引先との取引量を増やすため、「売れるモノ」の地域をまたがった産地拡大を進めます。例えばカボチャです。兵庫県にある野菜の大手総合商社への販路を開拓し、2019年度は試験栽培として4地区本部管内2.2haで栽培しました。収量はやや少なかったものの、品質は全国トップレベルの評価だったことを受け、増産の要望をいただきました。2020年度は各地区で栽培面積の拡大を図るとともに、新たな地区での栽培も始め、5.4haの栽培を予定しています。将来的には県内全体



井戸敬洋職員



とに取組みました！

大手外食産業へ精米を供給

島根県内の大手回転ずしチェーン店やレストランチェーン店への精米供給を開始しました。

外食産業のほか中食産業も需要が伸びる見込みの産業であり、多収穫米の販売先として期待しています。

2020年度は11月からの鳥取エリアへの供給に向けて、現在商談を進めています。



古瀬仁美職員



島根の農産物を
売り込みます！

販売戦略室 室長
須山 一



J Aしまねは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの柱を戦略に盛り込み自己改革の実現に向けて取り組んでいます。販売戦略室は、地区本部単位の販売に広がりを持たせるため、県内産品のビジネスチャンスや販売チャネルの拡大の役割を担う目的で設けられました。

J Aしまねの野菜販売チャネルは、全体的には卸売市場への一元的な販売から、直接販売等を含めたより多角的な販売へと変化しつつあります。儲かる農業の実現に向けて、担い手経営体のニーズに応える個別対応を強化し、マーケットインに基づく生産・販売方式への転換を図り、付加価値の増大と新たな市場開拓へ挑戦していきます。

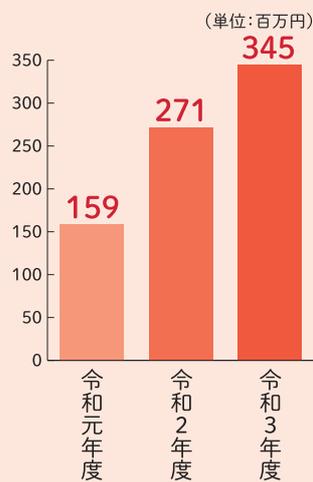
最後に、J Aとは、相互扶助の精神のもと農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された事業体です。販売戦略室の使命として、農家と消費者をつなぐ「食の架け橋」となり、未来の豊かな生き方、地域づくりに貢献し、農業者が営農活動から得る「よろこんでもらえるよろこび」を感じてもらえる、そんな島根の地域を目指します。

で20 haを目指しています。このカボチャは「売れるモノ」にするため、出荷時期を他産地と他産地の隙間となる7月の短期間で統一しています。これは、島根県内の一般的な慣行栽培と比べて1ヵ月程度早いので、生産者の皆さんにはこれまでにない手間や作業をお願いしていますが、県農業技術センターの協力を受けながら営農指導と一体となった「モノづくり」を進めます。

また新規取引先の開拓としては、北海道市場に注目しています。道内の取引先からは島根の特産品の一つである柿やワサビなど、北海道では生産されていない農産物への問い合わせがありますので、販路拡大の可能性が大いにあります。

今後取引先ニーズはもちろん、食の安全や国産志向など常に変化する消費者のニーズを見据え

3カ年計画に基づく販売計画



た生産を提案していきます。そして「企画↓生産↓評価↓改善↓生産↓…」のサイクルを回し、販売を起点とした「モノづくり」を実践します。



永瀬英昭職員



2019年度はこんなこ

島根産小豆の販売

大手コンビニチェーン向け

新しい地域特産品として、高収益作物である小豆の生産に着手し、大手穀物問屋との契約産地化に向けた商談を進めました。

今後は取引の継続と島根産小豆のブランド確立に向けて、栽培体系の早期確立とブランド振興策を、行政機関と連携して進めていきます。



年々人気が高まり、全国的にも増産傾向にあるシャインマスカット。島根産シャインマスカットは、他産地に先駆けて市場外流通のひとつとしてコンビニ業界に進出しました。

「しまねっこ」ラベルを貼付して島根ぶどうの品質の良さをPRしたところ、関東・関西など大消費地を中心に50,000パックを納品する大ヒット商品となりました。



島根には誇れる
農産品がた一つくさん!
**島根のいいもの
再発見!!**

[直撃・生産者インタビュー]

益田市

乳牛

4月、西いわみ地区本部。益田市で乳牛の飼育に取り組む株式会社メイプル牧場・取締役役場長の渡邊智章さんにお話を伺ってききました。



お話を伺いました
渡邊智章さん。

異業種と手を組み合い、皆がプラスに

益田市に拠点を置く株式会社メイプル牧場は、地元で肉牛の肥育を行なっている株式会社松永牧場のグループ会社として平成17年に設立されました。メイプルとは、カナダでよく見られる楓のことで、赤ちゃんの手のひらという意味もあります。「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届けることをモットーに異業種の5名が集まって立ち上げた事業であり、その協調のシンボルとしてもこの名前が付けられました。中でも、動物診療所がグループ企業として連携していることは全国的にも非常に珍しく、病気の治療はもちろん牧場全体のコンサルタントを担い、エサの設計や経営にも携わっています。その他にも木材のチップを作る会社とも連携し、木の破砕くずを牛の敷物にするなど、様々な業種の企業が支え合いグループ全体がプラスになるような関係を築いています。

西日本屈指の大牧場へ発展

メイプル牧場設立当時は、全国的に牛乳が余り生産調整が行われていた時代。そんな中でも、将来を見据えて大規模な牧場を新設しました。その後、制限は解除され、どんどん生乳の出荷を増量していき、現在は年間

1万2千トンの出荷量を誇る西日本でも屈指の大牧場に発展しました。

牧場には、乳牛、F1（交雑種）、黒毛牛の3種類合わせて約2千頭の牛がいます。このうち、乳牛のメスは残し、種付けをして出産させ、ミルクを搾ります。ここでは酪農はもちろん、松永牧場に肉牛のF1、黒毛牛の子牛を供給することも目的としていて、繁殖・飼養にも力を入れています。子牛は西部家畜市場へ出荷され、その多くが松永牧場へと渡ります。グループ会社だからと言って直接取引するのではなく、一度市場を経由することによって、市場の活性化にもつながっています。

毎日徹底されている乳質管理

メイプル牧場では、乳牛に対し採食量の管理をきっちり行い、健康な牛を育てています。牧場が設立された当初、世界初の乳質管理改善システムを導入。朝、夕の搾乳時に一頭ずつの脂肪、体細胞、血液量を瞬時に計測確認できます。これらのデータからほぼ同レベルの数値の牛たちを20の部屋に分け、専属の獣医のもとカロリーや糖質などを細かく計算されたエサを与えています。それぞれの状態に合ったエサや添加剤をコントロールしていくことで、毎日厳しい乳質管理を行っています。実は、一年中同じ乳質を保つことは難しく、特に夏になる



「朝早くから従業員みんなが頑張っています」と語る渡邊さん。



新型のロボット式パーラー。ほぼ自動で搾乳が完了する。



ヒートストレスを軽減するために屋根が高く設計されている。天井に溜まったガスを大型の扇風機で同じ方向に流していく。



今後も「子どもたちに飲んでもらいたい牛乳」を届ける。



機器によって、自動的に搾乳される。



搾乳時に、画面で一頭一頭の状態を確認できる。

と脂肪分が低下していきます。また、牛が暑さに弱いことから、乳房炎という病気にかかりやすくなるため、それらの対策としてもエサの中身の割合が重要になってきます。今の時代は「治療するのではなく、予防することが大事」と言われています。病気になつてから治すのではなく、病気にならないようにどう注意するか。そのためにグループ企業が連携し、全力で牛の体調管理に気を配っています。

新型のロボット式パーラーの導入

2019年に新しく稼働を始めたグループ会社の「浜田メイプル牧場」では、国内で2番目となる新型のロボット式パーラーを2機使用し、約800頭の乳牛の搾乳を行っています。大きな円形の土台に牛が乗ると、自動的に搾乳機器が付けられ搾乳が始まります。下の土台がメリーゴーランドのように一周する間(約15分間)に決まった量を搾乳できていると、機器が外れ、出口から牛が出て行くという画期的なシステム。ほぼ人の手を借りず搾乳できるようになったため、女性一人でもオペレーションすることができるよう。このように、最新機器の導入で時間と労働力の削減が可能となりました。

年中無休で稼働する牧場

現在従業員はパートやベトナムからの実習生を含め38名。2交代制でシフトを組み、早朝から夜遅くまで搾乳をはじめ、牛の世話や牛舎清掃などの作業をこなしています。盆や正月などにまとまった休みを取ることは難しいですが、それでも従業員みんなが真摯に仕事に取り組んでいます。「子牛に対しては自分の子どもを見るように十分注意しながら面倒をみてほしい」と語る渡邊さん。それくらい、牛の病気や変化に細心の注意を払うように指導しています。その分、元気な子牛が産まれた時には今までの努力が報われるほど嬉しいそう。「みんなが本当に頑張ってくれています。どこでも通用するくらいの技術を身につけているのでとても頼もしいです」と笑顔を見せる渡邊さん。牛の命や安全に関わることは徹底的

に厳しく教育しつつも、従業員と築かれた深い信頼関係が伺えます。

地域の方々と共に成長していく

畜産という業態はにおいやカラス、汚水などの問題からすべての地域住民から理解を得られているとは言い難い現実があります。そこで、メイプル牧場では地域の人たちに受け入れてもらうためにも、様々な行事や祭などに積極的に参加し、アイスクリームの販売や牛乳の無料試飲などを行いながら少しずつ地域との距離を縮め、畜産への理解を深めてもらえるよう取り組んでいます。また、地元の小学校の子どもたちを迎え、子牛にミルクをあげる体験や、写生大会などを実施。子どもたちにとっても牛とのふれあいを通して貴重な体験に役立っています。今後も、メイプル牧場は地域も企業も笑顔になれるようお互いに支え合いながら、最大の目的である美味しい牛乳を皆さんに届けるべく、日々前向きに努力し続けています。

一口メモ

年間1万2千トンの生乳を出荷するメイプル牧場の主な出荷先は、地元の加工会社や県外の大手飲料メーカーなど。地元でいちばん売れ行きが良く評判なのが「メイプル牧場牛乳」という商品。益田市に本社がある地元スーパーの「キヌヤ」が商品化し、販売しています。メイプル牧場で搾られた生乳を100%使用し、甘くて美味しい牛乳を家庭に届けています。また、グループ会社でもある「楓ジェラート」のアイスクリームはメイプル牧場のミルクを使用。島根の素材をたっぷり使用し、こだわりの味を提供しています。





JAしまね女性部

平成29年に県内の女性部が一つとなり、JAしまね女性部が誕生しました。JAを拠り所として「食」と「農」を基軸に、くらしをまもる活動等を展開し、これまで以上に魅力ある活動の輪を広げています。

昨年度より「JA女性 地域で輝け50万パワー☆」をJAしまね女性部3カ年計画に掲げ、県内の部員が一丸となって地域で輝くための活動を実践しています。

その中でも、近年頻発する災害に対する備えを学習テーマとした「JAしまね女性部研修会」では、日用品で作る防災グッズ講習や、非常時に行う炊き出しを実践し、誰もが安心して暮らせる地域づくり活動につながりました。

また、介護予防運動や料理教室など、誰もが気軽に楽しく参加できる活動を通じて、仲間との交流をはかっています。



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまね石見銀山青年連盟

小野 健さん
おの たけし

JAしまね石見銀山青年連盟（以下、農青連）に加入している小野健さん（35）は大田市鳥井町で約60aの面積でぶどう栽培を行っています。

祖父の代から続くぶどう農家出身の小野さんは就農して11年目になります。

「子供の頃からぶどう栽培を手伝う中で、漠然と将来はぶどう農家になると思っていた」という小野さん。

ぶどう栽培の魅力を聞くと「作物が育つ過程を見ることが一番の楽しみ。品質の良いぶどうができれば達成感が湧く」と熱い思いを語ってくれます。

小野さんは農青連に加入して2年目で、現在は役員も務めています。

「他の生産者との関わりができて、いい刺激をもらっている」というお話のとおり、農青連で食農体験活動やポン菓子加工など地域振興のため様々な活動に参加しています。

今後の農青連での抱負を聞くと「盟友のみんなが仲良く、無理なく、集まって楽しく活動することが大切」と話してくれました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

エダマメ

肥料は控えめに

大豆を未熟のうちに収穫するのがエダマメ。タンパク質、ビタミンA、Cを多く含み、ビールのおつまみとして夏の栄養補給に最適です。



園芸研究家 ● 成松次郎

元から切り取り、2本立ちにします。

気温が低い時期や鳥害を避けるためには育苗する方法もあります。この場合、直径7・5～9cmのポットに3～4粒まき、初生葉がそろそろ頃に間引いて2本残し、本葉2枚頃まで育苗します(図3)。

病害虫の防除

高温期にはカメムシ類が発生し、さやに付くと落下します。開花期にスミチオン乳剤、トレボン乳剤などの登録農薬で防除します。

収穫

さやが膨らんで、指で押さえるとはじけるようになれば収穫期で、開花後から30～35日です。株ごと引き抜いて収穫します。収穫適期は3～5日と短いため、同じ品種なら時期をずらして2～3回に分けて種まきすると、長く収穫を楽しめます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

品 種

一般には早生品種を使い、「おつな姫」(サカタのタネ)、「サッポロミドリ」(雪印種苗)などがあります。風味の良い茶豆では「湯あがり娘」(カネコ種苗)など、黒豆も人気で「濃姫」(タキイ種苗)などがあります。

畑の準備

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、よく耕しておきます。1週間前に化成肥料(NPK各成分で10%)100gと堆肥1～2kgを施し、よく混ぜ込んでおきます。その後、畝幅70～80cm、高さ5cm程度の栽培床(ベッド)を作り、黒色のマルチを張ります(図1)。

図1 ベッド作り

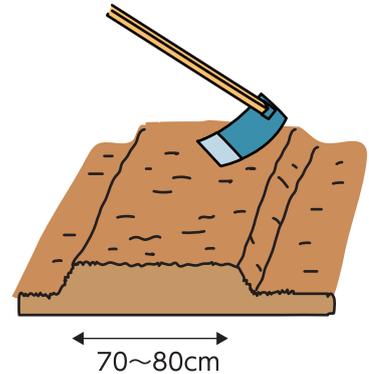


図2 種まき

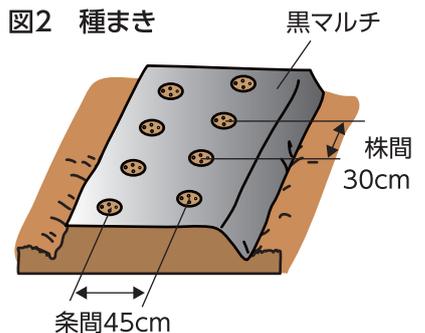


図3 ポット育苗

種まき7.5～9cm



植え付け苗



令和年度地区別座談会



質問・意見

回答要旨

宮農経済部門

問 農薬の取り扱いで成分、分量、使用回数・方法など J A職員も学習して指導してほしい。また、研修会など実施してもらいたい。

答 栽培講習会等を実施していますが、一部の参加者だけになっている現状です。少しでも疑問点があれば是非お問い合わせを J A にして下さい。また、農薬を使用する際は、必ず摘用と使用方法を十分確認するようにお願いします。

問 米の集荷率が下がっていることに危機感をもって思うが、農業者に対して一袋でも多く出すようにお願いしているのか。

答 T A C を中心に主に法人にお願いしているのが現状です。広報誌で幅広くお願いはしておりますが十分とはいえず、今後は個人の生産者の方にもお願いするよう努めます。

問 次年度における機械購入等での補助金の予算措置は

どうなのか。

答 県単事業等で対応できない案件を J A 支援事業で対応していますが、 J A しまねの利益から支出するため、令和 2 年度の支援資金が確保出来るかは分かりません。また J A 支援事業の支援先の費用対効果も問われますので、今までは色々な面でハードルが上がることをご理解いただきたいと思います。

問 葬祭センターの利用者が増えてきているが、組合員でないと利用できないと思っている人がおられる。 J A の P R 不足ではないか。

答 どなたでも利用ができましたので、お気軽にご相談下さい。今後はさらに P R に努めていきます。

問 葬祭について夜中に亡くなった場合でも病院に迎えに来てもらえるのか。 24 時間大丈夫か。

答 フリーダイヤルに連絡すれば担当者がお迎えに行くようになっています。また、葬儀に関係する生花・盛籠などの取次ぎも対応しております。

問 地域の購買等無くなり J A が遠い存在となった。提案として生活用品・食料品等を A コープラポ・ A コープ中央店等とタイアップしての移動販売等は考えられないか。

答 現在近隣の地区本部でも取組んでいる所があり、費用対効果の面では難しいようですが、今後の検討課題といたします。

問 農耕用大型特殊の免許を取得するための講習会を J A で実施出来ないか。

答 以前、集落営農法人を対象に実施した経緯があります。毎年 6 月頃に法人組織向けの講習会を実施していますが、農耕用機械を準備する都合等で法人以外の対象者に案内をいたしませんでした。対象者の選定ご案内について検討いたします。

金融部門

問 駐在業務の廃止は初めて聞いた。合併を重ねる度に業務を地域のためにしっかりやっていくと言っているが、規模が縮

小して地域住民サービスの低下により、説明と食い違ってJAが離れていく率が高くなるのではないかと。農家を思うためのJAになっ
てほしい。

答 駐在業務の廃止理由につ
いては、①コンプライアンスが厳しくなったこと②防犯面上
の理由③経営体質の強化のため
あり、今後出来る限りの対応をし
ていきたいと思えます。

問 ATMの再編を考えると
はどういうことか。

答 月の利用量、700件以
下が再編の対象となると思
われますが、今まで以上にJAの
ATMをしっかりと利用していただ
きますようお願いいたします。

共済部門

問 入院して共済金請求のた
め診断書を提出したが不必
要であった。診断書が必要な場合
とそうでない場合を周知してほ
しい。

答 入院共済金請求手続きに
おきましては、入院・保障

内容で診断書が必要な場合や診療
報酬明細書で受付が可能な場合が
ありますので、事前に支店等にこ
相談下さればと思います。

問 自動車事故の休日対応に
ついて、知人が事故をした
際に対応してもらえなかったと
聞いた。自分も加入しているの
でもしもの時に不安である。現在
の対応を教えてください。

答 平日（営業中）はJA職
員が対応いたしますが、夜
間・休日はJA共済事故受付セン
ター（0120-258-931）
に連絡をお願いします。委託業者
が受付対応し、共済課に事故状況
を繋ぐ流れになります。対応でき
ないことが無いように努めてま
います。

企画総務部門

問 JAは座談会しか集まり
が無いので、JAの実態・
組合員の実態がお互いで把握出来
ていないと思う。他の会合が無
く座談会だけが周知徹底の場とな
っているの、他の会合も検討して

ほしい。JAの存在が良くわから
ない。

答 報告周知は、座談会以外
に総代説明会・支店運営委
員会等を開催し地域組合員と関
わる機会も作っていますが、地域組
合員への周知は十分にできていな
いのが現状であり、何か他の方法
も考えたいと思えます。JAの状
況については広報誌「しまねびよ
り」を読んで頂ければと思います。

問 母体がしっかりしていな
いと十分な組合員サービス
が出来ないのは理解できるが、J
Aへの満足度など組合員アンケ
ーに結果として反映してものでは
ないか。組合員と同じ目線で事業
運営を行っていただきたい。

答 効率性だけでなく利用者
目線ですっかりやっています。J
Aは利用していただいてなんぼの
組織ですので、組合員の皆さんに
おかれましてもしっかりご利用頂
きますようお願いいたします。

問 准組合員の利用制限等を
考えれば、正組合員が年々
減少していく中で准組合員にJA
をもっと利用してもらわないとい

けないのではないかと思うが、J
Aとして現在どのような働きかけ
をしているのか。

答 これからは准組合員を地
域の応援団として盛り上げ
ていかなければならず、我々も真摯
に取り組んでいこうと思っております。

問 おさいふカードのポイン
トは12月末でなくなるのか。

答 1月1日から12月31日
に付与されたポイントは翌々
年12月31日（最長3年）をもって
無効となります。よって昨年末に
失効となったポイントはH29年の
ポイントとなります。

問 11月末の日本農業新聞の
購読が326件ということ
だが、ほぼ職員ではないのか。

答 日本農業新聞は全国で唯
一の農業専門の日刊紙であ
り、内容も非常にいいものだと思
います。組
合員の皆さんにおかれ
ては、積極
的な購読を
お願いいた
します。





農事組合法人 「澄川（すみかわ）」創立

益田市匹見町澄川地域の営農を守ろうと地域農業者らが3月1日に新規に集落営農組織を創立しました。

名称は農事組合法人「澄川（すみかわ）」（代表理事齋藤惟人）として、「地域を守る」という視点に立ち、地域でこなさなければならぬ仕事が必要であること、出来る取り組みから始めてみることに、後継者を確保する取り組みを掲げて活動を始めます。

27戸が組合員となり、作業受託面積1ヘクタールから始め、令和3年度には集積面積を2・1ヘクタールにする計画です。



わくわくつわの協同組合定期総会開催

わくわくつわの協同組合（理事長糸賀盛人）は3月8日、津和野町鷲原の道の駅「津和野温泉なごみの里」で第11回となる定期総会を開き、令和2年度の7つの事業目標を掲げ活動する事を確認しました。

組合員の経営安定支援などやU・Iターナー者の定住促進の取り組み、農薬散布用無人ヘリ更新やWCS事業の安定経営、町内小中学校への地元産米提供の継続や地元高校との校外学習の協力、省力農機として除草剤散布用ホバークラフトやトラクター用ハンマーモア草刈機の導入を検討します。

創立10周年を記念して来賓に迎えた島根県丸山達也知事から島根県農業の今後の展開について講演があり、集落営農組織を中心にした担い手の確保や育成先の支援策等が示されました。

同組合糸賀理事長は、新たに1法人を迎え13法人となったことを報告し「組合も創立から10年を越えた。地域を守るため生産基盤の整備や作業の際の農機の充実や担い手確保が重要」とあいさつしました。



益田東部農地開発営農組合 農組合通常総会開催



益田東部農地開発営農組合（組合長澤江浩一）は3月14日、益田市遠田町中遠田集会所で令和元年度の通常総会を開きました。

令和元年度活動報告と収支決算報告、令和2年度活動計画案と収支予算案が協議され承認されました。

令和2年度では、団地内の農業振興に関することや環境・景観整備に関することと、地域とのふれあい事業実施の検討を計画します。



令和元年度西部地区肉用牛振興大会を開催

石西地域農林振興協議会と浜田地方農林業振興協議会は2月28日、益田市元町の益田市民センターで令和元年度の西部地区肉用牛振興大会を開きました。

県西部家畜市場管内の江津市、浜田市と益田市、津和野町、吉賀町の肉用牛飼養農家や関係機関ら約60名が出席した大会では、表彰、情勢報



告とJ Aや関係機関からの情報提供がありました。

会のはじめには西いわみ和牛改良組合（組合長寺戸倉雄）が、平均分娩間隔の部で全国3位の成績を取めたことで全国和牛登録協会より表彰されました。

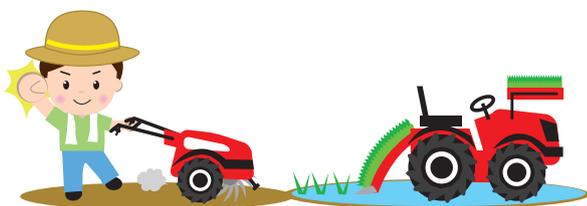
第48回家畜人工授精優良技術発表全国大会で優秀賞である西川賞を受賞した佐々木恵美さんが、事例報告として「新規就農での早期の経営安定に向けた繁殖管理」を発表しました。

農機拠点センターが春の農機フェア開催

J A西いわみ地区本部農機拠点センターは3月6日と7日の両日、益田市向横田町のJ A農機拠点センターで春の展示即売会を開きました。

トラクターや田植え機等の大型機械、家庭菜園用の小型管理機や草刈機等を数多く展示し来場者を迎えました。フェア初日には、J A営農経済部米穀課職員による稲作セミナーを開催しました。

最終日には、農機メーカーによる密播稲移植栽培技術講習会を開催し、2日間のフェアは大いにぎわいました。





JA女子大学西いわみ校入学式



JAしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）で2月28日、JA女子大学西いわみ校の入学式があり、40代から70代の入学生15人が第6期生として大学生活の第一歩を踏み出しました。

入学式では、学長の田村本部長が学生らに「新たな仲間づくりや経験値を高めていってほしい」と式辞を述べたほか、副学長の波田洋子JA西いわみ女性部長が「皆さんは今日から花の女子大生です。これからの大学生活を楽しく過ごしてほしい」と祝辞を述べました。



式典終了後、学生全員でオリエンテーションを行い、自己紹介やカリキュラムの内容などを話し合いました。

今後はヨガ教室や茶摘みなどバラエティ豊かな講義を開く予定です。

JA共済が夜光反射材を中学校に寄贈しました

JA共済連島根と（一財）県農協共済福祉事業団、JAしまねは令和2年春に入学する中学生に、登下校時の交通安全に役立ててもらおうと、県内の中学校に夜光反射材を寄贈しています。

中学校生活では、夕暮れ時や交通混雑時に登下校する機会が増え、交通事故に遭遇する危険性が高まることから、身に付ける「夜光反射タスキ」と自転車に付ける「自転車用夜光反射テープ」を用意しました。



3月19日には、益田市立益田東中学校で贈呈式を行い、同校倉橋宏明校長にJAしまね西いわみ地区本部松本慎司西いわみ統括支店長が「生徒の皆さんの交通事故防止に役立てて下さい」と述べ、目録と趣意書を手渡しました。

受け取った倉橋校長は「生徒の交通事故防止のため、有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。

JA共済連島根と福祉事業団、JAでは、平成2年からこの取り組みを毎年実施していて、今春は県内中学校96校へ「タスキ」と「テープ」合わせて10,155個を寄贈します。



西いわみ地区本部からのおしらせ



移動スーパー とくし丸 販売パートナー (オーナー)募集!

あなたも、始めませんか?
「ありがとう」と言われる
仕事です。

未経験者歓迎!
ドライバー(パート)
同時募集!
詳しくはお問合せ
下さい。



とくし丸=真実丸
真実=心のあついでこと。
特に、社会事業や公共の福祉
などに熱心に協力すること。
また、その心や、そのさま。

少しでも興味がある方、詳しくご説明しますのでお気軽にお問い合わせください。

株式会社Aコープ西日本 TEL082-276-0700

733-0832 広島県広島市西区草津港2丁目6-50 (担当 木村・藤井) <http://nishihon.acoop.jp/>

起点店舗:Aコープますだ中央店
Aコープラポ店

電話:0856-31-1896
電話:0856-27-1388

J A 連絡先 J A しまね西いわみ地区本部企画総務部経営管理課 電話 0856-22-1584

西いわみ地区本部の自己改革の取り組み

毎週金曜日は県産品応援デー

JAグループでは、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、島根県産品の消費が減少し生産者の皆さんの収入減が心配されていることをふまえ「島根県農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」を契機にともに取り組んでいる島根県職員と一緒に、3月より、全職員に県産品の消費拡大を呼びかけています。

県産品の消費拡大の日として『毎週金曜日を県産品応援デー』に設定し、JA職員、県職員自ら県産品の消費拡大に取り組みます。

JAではこれからも自己改革実現のため皆様方からいただいたご意見を、できることから確実に実施してまいります。



新型コロナウイルスの流行に負けるな！！

毎週金曜日は『県産品応援デー』



JAグループ島根職員と島根県職員は県産品の消費拡大に取り組み生産者を応援します！！

5月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

西いわみ地区本部益田中央支店金融課
年金相談センター (0856-22-8680) は、
平日 (8:45～17:00) いつでも
ご相談いただけます。

5月の年金相談会

21日(木)	高津支店	午後3時～午後7時	JA年金相談員
--------	------	-----------	---------

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

- お題「桜」
- 桜咲き 希望に満ちた 子供たち (益田市 三浦 房恵さん)
 - 輪になって 飲んで食って 桜見ず (益田市 和崎富久代さん)
 - 乾杯の グラスに一ひら 桜花 (益田市 山本 綾子さん)
 - きてみてよ 河津桜が 満開よ (益田市 大久保菊江さん)
 - 木々の中 王の如くに 山桜 (益田市 澄川久美子さん)
 - 花いかだ 春の小川も うれしそう (益田市 山下 昭子さん)
 - 春霞 素朴でかんな 山桜 (益田市 岡崎千代子さん)
 - 母さんと 桜の下で 一年生 (益田市 小笠原かよみさん)
 - コロナ等 空吹く風の 櫻花 (益田市 村上登美子さん)
 - 桜よし だんごもよしの 花見酒 (津和野町 岸田 英子さん)
 - 満開の 桜に憂が とんでゆき (津和野町 高谷喜里栄さん)
 - 散らないで 桜まつりは もうすぐよ (津和野町 大庭百合子さん)
 - 月あかり 桜並木の 城下町 (津和野町 豊田 實さん)
 - ヒラヒラと 桜の花ヒラ 桶の水 (津和野町 大羽 克巳さん)
 - 桜咲き 介護の母の 笑顔倍 (津和野町 三浦 保子さん)
 - 満開に 心和ごます 桜道 (吉賀町 河野 君江さん)
 - 夜桜の 明かりがともし 酒の宴 (吉賀町 安富 亮子さん)

川柳「桜」の投稿数 津和野町14通、吉賀町2通、益田市24通



6月のお題は「梅雨」です
ご応募お待ちしております

川柳 応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和2年5月8日(当日消印有効) ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課



島根県農業協同組合 西いわみ地区本部 人事異動

1. 退職 [令和2年3月31日付]

【正職員】

石田博文	営農経済部米穀課	(依願退職)
伊藤寛	営農経済部指導販売課	(依願退職)
岡崎翔平	美都支店金融共済課	(依願退職)
福原北斗	中西支店金融共済課	(依願退職)
長嶺裕貴	匹見支店金融共済課	(依願退職)



2. 異動 [令和2年4月1日付]

新任部署・職位		氏名	旧任部署・職位
営農経済部	指導販売課課長補佐	品川達彦	企画総務部ふれあい課課長
	米穀課	行平愛子	益田東支店金融共済課総合渉外
企画総務部	統括部長兼企画総務部長兼ふれあい課長	竹長隆	統括部長兼企画総務部長
益田東支店	経済課	大賀秀明	益田東支店金融共済課総合渉外
中西支店	金融共済課	田中美佐代	中西支店金融共済課総合渉外
美都支店	金融共済課	三浦邦昭	美都支店金融共済課総合渉外
	経済課	堀江勝美	益田支店金融共済課総合渉外
匹見支店	金融共済課	神田章	中西支店金融共済課総合渉外
津和野支店	金融共済課	日高規行	匹見支店金融共済課総合渉外
六日市支店	金融共済課	水落光枝	六日市支店金融共済課総合渉外
	金融共済課	河角朗	六日市支店金融共済課総合渉外

“Ienohikari”
家の光

5月号で
は創刊95周年

家族みなさんで
ぜひ購読ください

いま“知りたい”暮らしの旬のテーマを
取り上げます

創刊95周年記念

今年の5・9・12・1月号は、別冊付録2冊付き!

食と農
暮らし
協同
家族

年6回は
別冊付録付き

お申し込みはお近くの
JA本・支店(所)へ

家の光

定価(税込) ●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号)922円
●家計簿付き12月号1,027円

JAグループ 家の光協会
〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町 11
TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



JＡしまね西いわみ旅行センターより お知らせ



1枚のキップからお申し込みください

各種取り扱い商品

- JR(指定席、乗車券) ■私鉄(指定席、乗車券) ■航空券 ■宿泊券(契約業者) ■食事券(契約業者)
- 施設入場券(契約業者) ■旅行保険 ■航空パック商品(航空券とホテルがセットになったもの)
- JRパック商品(東京1名以上、関西2名以上で申し込み) ■航空券(海外、海外パック商品)
- 農協観光取り扱いの各種募集商品など(おさいふカードのポイントが付与)
※寿ロード、ふれあい旅行には付与されません

JAで年金を受給されている方、受取予約をされている方対象商品

- 足立美術館 優待券

JAの組合員、共済加入者の方対象商品

- 玉造ホテル玉泉 利用割引券
※対象者がグループ内でお一人いればOKです

J A旅行センターは J Aしまね西いわみ地区本部1階です

☎ 0856-22-8587 FAX0856-22-8679 (担当者：中村 福原)



農業サポーター募集中！

益田市では、農業者の高齢化や後継者を含む担い手の減少が進み、労働力不足が大きな問題になっています。

そこで、農業に関する労働力を補うための取組として、「農業サポーター」の制度を設けています。

「農業サポーター」とは、サポーターの対応可能な作業と農家が求める農作業補助とのマッチングを行い、サポーターとして登録された方に簡単な農作業をお手伝いしていただく制度です。

このたび、サポーター登録のための要件を一部変更いたしましたので、下記の内容で改めて募集いたします。

農業に興味・関心のある皆さま、この機会に農業に携わってみませんか？

益田市農業サポーター募集要領



1 対象者 下記の条件を全て満たしていること

- ①農業に興味のある方
- ②農作業をしてみたい方
- ③基本講座を受講できる方

※基本講座は、2時間程度の座学(無料)となります。

※サポーター登録に際し面談を実施します。ご承知おきください。

2 募集期間 随時

3 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、市農林水産課へご提出ください。

募集要項及び申込書は、市ホームページ掲載のほか、市農林水産課、美都・匹見総合支所、各地区公民館、合同庁舎、JAしまね西いわみ地区本部各支店に設置しています。

※直接持参されるか、FAXまたは郵送、e-mailでお申し込みください。

農業サポーター制度の概要



こんな作業にサポートを必要としています！

- 水田周辺の草刈
- 剪定・誘引等作業
- 収穫・出荷調整作業
- 芽かき・葉かき等作業 など…

【お問い合わせ先】

〒698-8650 島根県益田市常盤町1番1号 益田市産業経済部農林水産課 担い手支援センター

TEL : 0856-31-0312 FAX : 0856-24-0452 e-mail : noshin@city.masuda.lg.jp

水稲



適正な播種量と植付本数で品質向上を目指しましょう！

●健苗育成のポイントとは播種量

米づくりは苗半作といわれ、苗の良し悪しによって収量・品質は大きく左右されます。良質米生産のためには、まず健康な苗をつくることから始まります。そのためには、播種量は乾籾で120g/箱の薄まきとし、茎が太く腰のすわったがっしりした苗をつくりましょう。

●田植えのポイントとは植付本数！

今年もいよいよ本格的に田植えがスタートする時期となりました。近年は乳白粒による品質低下が大きな問題となっております。その原因の一つが、過剰な生育による過繁茂です。そこで次の点に注意して田植えを行ってください。

① 一株の植付け本数は3〜5本にしましょう！

一株の植付け本数が多いと、田植えをした後の見栄えは良いのですが、その後は過剰分げつとなって乳白粒が発生しやすくなります。

*乳白粒対策として

● 出穂期を遅らせる：遅植えにより出穂を遅くして登熟期の気温を下げる

● 水田や稲体を冷やす：かけ流し灌がいや夜間入水などの水管理がある

② 植付間隔は条間30cm・株間18cm（坪60株）にしましょう！

一株の植付け本数を3〜5本とした場合、植付け間隔が広くなりすぎると収量が低下する場合がありますので適正な栽植密度を心掛けてみましょう。

③ 植付け深さに注意しましょう！

極端な深植えをすると活着が遅れ、分げつが抑制されます。また、株が広がらずに筒状の姿となり、紋枯病などの病害虫に弱く、倒伏しやすくなります。また、極端な浅植えは除草剤の薬害を受けやすくなりますので、植付け深さは3cm程度の深さとしましょう。

畜産



3月の子牛市場

3月17日(火)に雌53頭、去勢104頭、計157頭の上場により、今年度最後の西部家畜市場が開設されました。普段よりも購買者が多かったものの、上場牛にバラツキが散見されたことや、3月から全国的に市場価格が下落していることなどから、平均価格で雌531千円(前回比93%)、去勢671千円(前回比90%)、計626千円(前回比91%)と前回の市場から大幅な下落となりました。今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼いや方マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

なお、次回の市場開設日は5月19日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故(疾病)等無いよう宜しくお願い致します。

3月西部子牛市場成績(税込み)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均体重
益田市 (益田)	雌	38	739,200	287,100	537,842	277
	去勢	60	834,900	390,500	676,280	315
	計	98			622,600	300
益田市 (美都)	雌	3	559,900	511,500	535,700	304
	去勢	2	686,400	588,500	637,450	325
	計	5			586,575	315
益田市 (匹見)	雌	3	544,500	361,900	453,200	278
	去勢	3	718,300	477,400	621,133	304
	計	6			553,960	293
津和野町 (津和野)	雌	3	511,500	482,900	499,400	287
	去勢	2	678,700	607,200	642,950	294
	計	5			556,820	290
津和野町 (日原)	雌	3	510,400	449,900	480,150	248
	去勢	6	753,500	633,600	689,700	325
	計	9			637,313	305
吉賀町 (柿木)	雌	1	331,100		331,100	262
	去勢	3	634,700	344,300	480,333	291
	計	4			443,025	284
吉賀町 (六日市)	雌	1	520,300		520,300	319
	去勢	2	754,600	623,700	689,150	318
	計	3			632,867	318
西部市場 総合計	雌	53	739,200	287,100	531,008	277
	去勢	104	834,900	344,300	671,349	315
	計	157			626,403	303



西いわみ地区本部からのお知らせ



JALしあね ×



メガネの三城

メガネ・補聴器



巡回サービス

こんにちは、『メガネの三城』移動型店舗店長の狩野と申します。みなさまの町のJA各支店へお伺いさせていただいております。メガネ、補聴器の調整、ご相談などお気軽にお立ち寄りくださいませ。JA様でお求めの方はもちろん、他店でご購入の方も大歓迎です。

～ 無料で出来ること、お役に立てることがたくさんあります。～

フレーム+
本体価格 ¥12,000~
[税別+13,200~]

らくみみ

お問い合わせはこちらの携帯電話もどうぞ

090-6955-1612



メガネの三城 『移動型店舗 クーリエ号』
店長 狩野 昭弘

『訪問ご希望のお客様へ』ご来店が難しいお客様はご自宅まで訪問させていただきます。ご希望の方は最寄りのJA窓口へお問い合わせくださいませ。

日	月	火	水	木	金	土
令和2年 5月の巡回日程					1 赤口	2 先勝
3 友引 憲法記念日	4 先負 みどりの日	5 仏滅 こどもの日	6 大安 振替休日	7 赤口 匹見支店 9時～14時	8 先勝 柿木経済 9時～13時	9 友引
10 先負	11 仏滅 西益田支店 9時～12時 益田グリーンセンター 14時～16時	12 大安 日原経済C 9時～14時	13 赤口	14 先勝	15 友引	16 先負
17 仏滅	18 大安 ラーバン 9時～12時 益田グリーンセンター 14時～16時	19 赤口 日原経済C 9時～14時	20 先勝 匹見支店 9時～14時	21 友引 六日市支店 9時～13時	22 先負 津和野経済 9時～13時	23 仏滅
24 大安	25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安
31 赤口						

経済課より

シロアリ警報!5月は羽アリが多発!!



無料



シロアリ来襲
お宅は大丈夫
ですか?

初夏は羽アリが出る季節。気付かないうちに住みついてくるかも。早めの防除があなたの家を守ります。

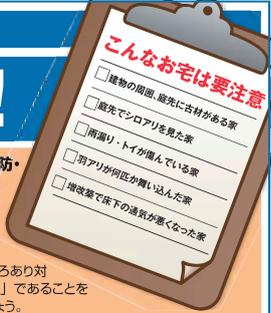
シロアリの予防・駆除は確かな実績と安心のJAへご相談下さい。

シロアリ防除は「(公社)日本しろあり対策協会登録企業」であることを必ず確認しましょう。

JAのシロアリ予防・駆除は安心です。毎年莫大な量の木材が、シロアリや木材腐朽菌によって失われております。JAとして、組合員の皆様の住まいの耐用年数を延ばし、住まいを守る天災対策として、シロアリおよび腐朽被害対策を行っております。

環境に適合した薬を使用
(公社)日本しろあり対策協会で効力・安全性の審査に合格した認定薬剤を使用しています。

資格者(プロ)による施工
(公社)日本しろあり対策協会の施工仕様にとりしりろあり防除施工士が施工しています。



取扱業者 株式会社 **コタマサイエンス** JA全農基本契約業者「株児玉商會」特約施工店

(公社)日本しろあり対策協会正会員 会員番号 島根県 002 会員番号 鳥取県 002 (本社)〒690-0048 島根県松江市西塚島 2丁目 8-23

■益田営業所 TEL0856-22-5390 ■各営業所/松江・江津・隠岐・鳥取・倉吉・米子・広島 http://www.kodama-s.co.jp/

床下の無料調査(シロアリ駆除・防除等)に伺います。

床下の無料調査をご希望の方には、JAしまね取扱業者(株)コタマサイエンスの地区担当者が訪問しますので、よろしくお願い致します。



中川 徳行



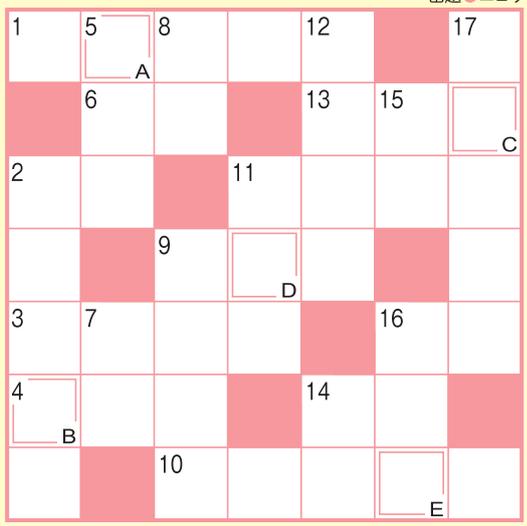
三浦 定

お問い合わせ先 益田市中吉田町 1001-1 JAしまね 西いわみ地区本部 経済課 TEL:23-0914

CrossWord
クロスワード
パズル
Puzzle

二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ② 知事選の期日前——に行ってきた
- ⑤ 耳は聴覚、鼻は嗅覚、目は
- ⑦ ゾウやライオンを数えるときに
使う言葉
- ⑧ 大きな口を持つ爬虫(はちゅう)
類
- ⑨ 往年のヒット曲『——のハワイ
航路』
- ⑪ 武者人形はかぶっていることが
多い
- ⑫ 茶畑で行う収穫作業
- ⑭ 数え年70歳のお祝いです
- ⑮ アシカやオットセイより大きな
海獣
- ⑯ 飛行機で物を運ぶこと
- ⑰ 田畑を耕す農耕機械

ヨコのカギ

- ① 端午の節句に食べる和菓子
- ② 損の反対語
- ③ あの人、いい人なんだけど、
——多いんだよなあ
- ④ 邦画ではありません
- ⑥ シオマネキやガザミはこの仲間
- ⑨ 馬具の一つ。足を掛けます
- ⑩ 春の大型——をゴールデンウ
イークといいます
- ⑪ クラブ——、救援——、——写
真
- ⑬ 与党と対立することが多い
- ⑭ たくと良い香りがします
- ⑰ アスバラガスは主にこの部分を
食べます

応募要項

- 応募方法
ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、
下記宛先にお送りください。
- 賞品
正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表
賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切
〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2020年5月7日（木）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆



JAしまねびより
「俳句の広場」「川柳の広場」
がスタートします！

JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集します。
優秀句（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）は5月号
より誌面でご紹介！たくさんのご応募お待ちしております。

奇数月は【俳句の広場】 選者は安食 彰彦先生
4月、6月、8月、10月、12月、2月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

偶数月は【川柳の広場】 選者は竹治ちかし先生
5月、7月、9月、11月、1月、3月の各15日を締切として、
翌月のJAしまねびよりにて入賞作品を発表します。

最優秀賞、優秀賞の4名様には
「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、
電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、
Eメールのいずれかでご応募ください。
※1回のご応募につきお一人様3句まで
ご応募いただけます。
※応募作品は自作で未発表のものに限り
ます。
※応募作品の一切の権利は、JAしまね
に帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）
を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-35-9045
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

作業機を装着したトラクタで公道走行が可能となりました！

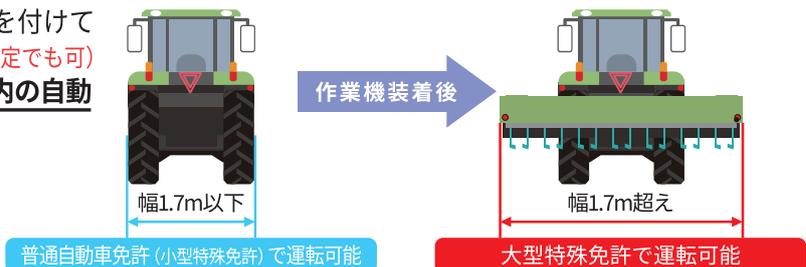
道路運送車両法の基準緩和によって、**一定条件を満たした状態に限り**トラクタに作業機（ロータリー・ハロー等、けん引式でないもの）を付けたままで公道を走行することが可能となりました。

適切な運転免許証をもっていますか？

作業機の幅によって必要な運転免許が変わります

作業機本体の幅が**1.7mを超える**作業機を付けて公道を走行する場合、**大型特殊免許**（農耕限定でも可）が必要となります。**大型特殊免許は、県内の自動車教習所等で取得することができます。**

普通自動車免許（小型特殊免許）で運転可能なトラクタでも、**作業機の幅が1.7mを超えると大型特殊免許が必要**となるので注意！



※耕うん幅ではなく**作業機全体の幅**です。
※普通自動車免許を取得していれば、小型特殊免許取得の必要はありません。

作業機を装着したトラクタの公道走行については、免許の確認（取得）の他各種灯火類の確認や車両幅の確認、安全性の確認が必要です。トラクタ・作業機を保有するご自身で諸条件を十分ご確認いただき、法令を守って走行して下さい。また、ご不明な点がございましたら、お近くのJA 営農担当部署、農機担当部署までお問い合わせください。

島根をもっと元気にしたい ～一緒にJAで働きませんか～

JALしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、組合員はもとより県民そして次世代を担う若者・子どもたちとともに、大地の恵みと食文化の尊さを継承していきます。

「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- 地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- 地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- 水と緑を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- 【し】……組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- 【ま】……組合員・利用者の満足、一番をめざします
- 【ね】……仕事への熱意、一番をめざします



JALしまね 令和3年4月 採用職員募集のご案内

- 募集職種** 正職員（総合職）
- 募集区分** 本店採用（転居を伴う配置の可能性があります）、地区本部採用（原則転居を伴う配置はありません）
- 応募資格** ①令和3年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 採用予定** 若干名
- 提出書類** 履歴書（JA指定）、卒業見込証明書または卒業証明書、学業成績証明書、受験票添付写真1枚（タテ4cm×ヨコ3cm、6ヶ月以内撮影）
- 受付期間** 令和2年4月1日（水）～5月8日（金）期間内必着
- 選考方法** 筆記試験、面接試験、小論文試験（一次選考・令和2年6月実施予定）
- 応募方法** マイナビ2021よりエントリーのうえ、提出書類を受付期間内に下記まで郵送または持参にてご提出ください。

※採用条件など詳しくはJALしまねHPまたは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先（書類提出先）

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
JALしまね 総務部 人事課
担当：太田、上原
TEL：0852-35-9016
FAX：0852-35-9024
ホームページ
<http://ja-shimane.jp/>
E-mail
jijinji.hon@ja-shimane.gr.jp



マイナビ2021

マイナビでエントリー受付中



JALしまね 島根県農業協同組合



しまねうれしび



今月号から島根県家の光講師、飯塚生美子先生に季節のレシピをご紹介します！

新玉ねぎでライスサラダ



・新玉ねぎならではの甘さを生かした一品！
・野菜たっぷり、砂糖不使用。血糖値が気になる方におすすめです。
・レタスに包んでサラダ手巻き寿司風にもなります。

●材料（4人分）

ご飯……………400g	オリーブ油…大さじ2	カニかまぼこ……4本
新たまねぎ……1玉	酢……………大さじ4	青じそ……………2枚
パプリカ（赤）1/4個	コンソメ(顆粒)小さじ2	レタス……………適量
A パプリカ（黄）1/4個	カレー粉……小さじ1	
きゅうり…………1本	塩こしょう……少々	
プロセスチーズ…3個		

●作り方

- ①Aの材料を全部5ミリ角に切る。
- ②大き目のボウルにBを入れてよく混ぜ合わせドレッシングを作り、その中に①の材料を全部加えてひと混ぜする。
- ③②のボウルにご飯を加え、しゃもじで切るようにして混ぜ合わせる。
- ④器にレタスを敷いてその上に③を中高く盛り、ほぐしたカニかまぼことせん切りにした青じそを飾る。

アレンジ
・チーズの苦手な方は、ハム、焼き豚、ツナ缶等に変えてもおいしくできます。
・カレー粉無しでもおいしくできます。
・市販のお好みのドレッシングを使ってもおいしくできます。
・盛り付ける具材はゆで卵や海鮮、アスパラ、スナックエンドウもおすすすめです。

新じゃがのガレット



・じゃが芋のでんぷん質で焼き固めるので、切ってから水にさらすと固まりにくくなります。
・なるべく細く切るとまとまりやすいです。
・おやつやおつまみにどうぞ！

●材料（直径20cmサイズ1枚分）

じゃが芋 2個(250g)	オリーブ油……大さじ1
A 片栗粉…………大さじ1	ケチャップ……お好みで
ピザ用チーズ…40g	
塩こしょう……少々	

●作り方

- ①じゃが芋は皮付きのまま洗いなるべく細いせん切りにする。
- ②ボウルにAの材料を入れて混ぜ合わせる。
- ③フライパンにオリーブ油をひいて中火で熱し、②を全部入れ、均等な厚さになるよう広げ、フライ返しでしっかり押し固めて焼く。
- ④5分くらい焼いたら裏返し（いったん皿に出してからひっくり返すと出しやすいです）、さらに3分押し焼きして両面に焼き色を付ける。
- ⑤器に盛り、食べ易い大きさに切り分ける。
- ⑥好みでケチャップをつけて食べる。

アレンジ
・カレー粉を加えて焼いてもOK!
・ブラックペッパーを振ると大人味に。

健康散歩

けんこうさんぽ



玄米を活用してみませんか？

気候がすっかり春らしくなり、新しいスタートを切る人が多いかと思えます。気持ちも新たに体力もしっかりとつけていきたいところです。私たちにあって炭水化物は主食として健康を支えてきた大切なエネルギー源ですので、きちんと摂取したいものです。そこで、今回はお米の中でも栄養価の高い、玄米についてご紹介します。

玄米とは、白米を精米する前のものです。玄米には血糖の上昇を抑える食物繊維や、糖質をエネルギーに変える働きのあるビタミンB1などが豊富に含まれており、白米と比べても、食物繊維は約6倍、ビタミンB1は5倍、鉄分は約2.5倍、カルシウムは約2倍の栄養価となっています。ところが、そのままの玄米は胃に負担がかかったり、食感や味感があまり好まれなかったり、玄米を摂取する家庭が少なくなりました。「玄米を摂取したいけど、ちょっと…」という方には、玄米と白米を混ぜて摂取されてもいいかもしれません。玄米と白米を1：1で混ぜたものや、5分づき米などでも玄米の良さを取り入れることができますし、食べやすくなります。特に、食事時間が21時以降になると、血糖が上昇しやすくなってしまいますので、そんな方にもおすすめです。しっかり、よく噛んで食べるようにしましょう。最近では、白米が主流になったことから、消化が良くなり、食べやすくなったのでよく噛まずに食べてしまい、ついつい食べ過ぎてしまうということもなっています。肥満の原因にもなりかねません。

最近では、玄米を美味しく炊ける電化製品も増えてきているので、体調が気になる方には玄米をお勧めします。今では、ご飯だけでなく玄米を使ったパンやお菓子、麺なども出てきました。いつも買うパンやお菓子ではなく、時には玄米を使用したものを選ぶなど、栄養価の高いものを選んでみてはいかがでしょうか。

